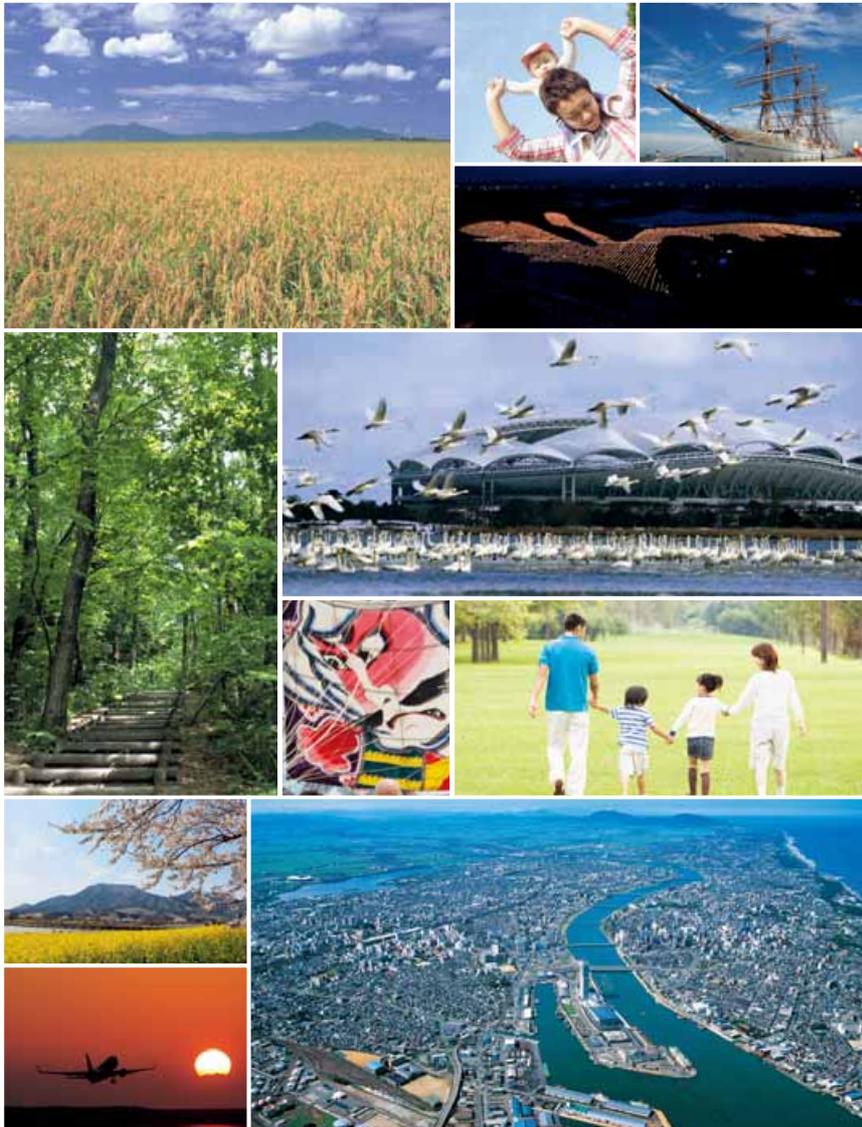


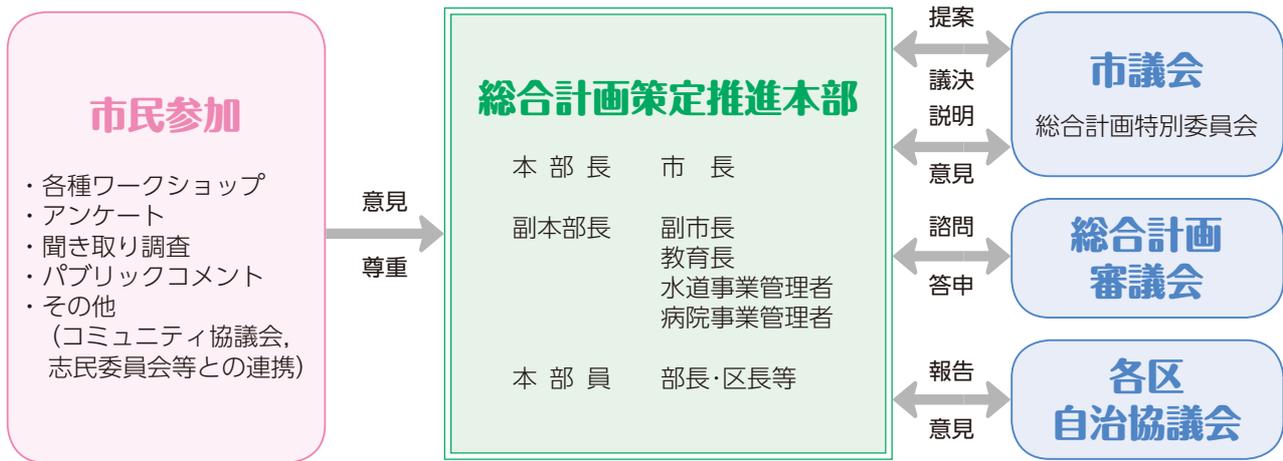
附属資料



Niigata
Mirai
Vision

1 新潟市総合計画策定体制

計画の策定にあたっては、市民の皆さまのご意見を幅広くお聞きするため、ワークショップやアンケートなど市民参加の機会を設けたほか、市議会や総合計画審議会での審議、区自治協議会との意見交換などを行う体制を整え、多様な世代・立場の方から多くのご意見をいただきました。



2 策定の経過

	市民参加	総合計画審議会	総合計画策定推進本部(庁内)
平成25年11月			本部設置
平成26年 1月	8大学連携まちづくりワークショップ 区自治協議会まちづくりワークショップ 新潟市サポーターズ倶楽部まちづくりアンケート 新潟大学法学部特殊講義まちづくりアンケート		第1回本部会議
2月			第2回本部会議
3月	にいがた未来cafe		第3回本部会議
4月	区自治協議会との意見交換会		
5月	地域コミュニティを考えるワークショップ		
6月	女性を対象とした聞き取り調査	第1回全体会・諮問	第4回本部会議 第5回本部会議
7月	女性が考えるにいがたの未来ワークショップ	第1回部会 第2回部会	
8月	地域コミュニティ協議会との懇談会 パブリックコメント [にいがた未来ビジョン]シンポジウム	第3回部会	
9月		第4回部会 第2回全体会	第6回本部会議
10月		答申	

3

総合計画審議会

総合計画審議会は、各界・各層から幅広いご意見をいただくため、新潟市附属機関設置条例に基づき、総合計画策定の際に設置される機関であり、学識経験者、各分野団体等さまざまな立場の方から、4つの部会に分かれて、ご審議していただきました。

(1) 審議会委員名簿

(五十音順・敬称略)

部会	委員名	職名等
会長	高橋 姿	新潟大学 学長
第1部会	◎大串 葉子 坂爪 惣一郎 新藤 幸生 ○鷲見 英司 鶴巻 美歩 西村 伸也 藤井 武夫 松田 正實 諸橋 奈々 山賀 昌子	新潟大学経済学部 准教授 西蒲区自治協議会 会長 秋葉区自治協議会 会長 新潟大学経済学部 准教授 (一社)新潟青年会議所 創造力育成室 女性の力創造委員会 委員長 新潟大学工学部 教授 東中野山小学校区コミュニティ協議会 会長 葛塚中央コミュニティ協議会 会長 株式会社コーチエンタープライズ 代表取締役 特定非営利活動法人まちづくり学校 事務局長
第2部会	秋山 詩織 市井 栄吉 大宮 一真 海津 悠平 近藤 尚代 ○齋藤 玲子 椎谷 照美 関川 弘雄 広橋 武 真嶋 民雄 間島 由夏 ◎丸田 秋男 山田 美恵	コミュニティソーシャルワーカー(中央区社会福祉協議会) 社会福祉法人更生慈仁会はまゆう 施設長 新潟市小中学校PTA連合会 会長 南区自治協議会 委員 にいがた女性会議 運営委員 新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授 特定非営利活動法人ヒューマン・エイド22 代表 有明台小学校区コミュニティ協議会 会長 (一社)新潟市医師会 理事 西区自治協議会 会長 亀田西小学校区コミュニティ協議会 事務局長 新潟医療福祉大学 副学長 地域教育コーディネーター(東青山小学校)
第3部会	阿部 洋一 五十嵐 彌 市野瀬 純子 ◎岩佐 明彦 川上 光子 郷 扶二子 霜鳥 彩 古川 彩乃 山中 知彦 ○渡邊 信子	中央区自治協議会 会長 小須戸小学校区コミュニティ協議会 会長 にいがた農村地域生活アドバイザー会議 会長 新潟大学工学部 准教授 地域教育コーディネーター(中之口東小学校) 坂井輪中学校区まちづくり協議会 副会長 株式会社ジョイフルタウン 「月刊にいがた」 副編集長 公募委員 東区自治協議会 会長 特定非営利活動法人新潟NPO協会 代表理事
第4部会	◎五十嵐 由利子 石田 美紀 ☆今井 幹文 奥寺 洋子 小田 信雄 ○木山 光 池主 透子 豊岡 克 真木 美智代 真島 彰夫 山崎 敬雄	新潟青陵大学短期大学部 副学長 新潟大学人文学部 准教授 新潟経済同友会 代表幹事 新潟商工会議所 女性会 副会長 小林コミュニティ協議会 会長 志民委員会 N・Visionプロジェクト 世話人代表 TC-wave 代表 江南区自治協議会 会長 公募委員 岩室地域コミュニティ協議会 会長 北区自治協議会 会長

H26.7月時点の職名

☆印は副会長、◎印は部会長、○印は職務代行者

基本構想

基本計画

1 総論

2 本市を巻き込む状況

3 政策・施策

4 区ビジョン基本方針

附属資料

(2) 審議項目

部 会	審 議 項 目
第1部会	●土地利用方針 ●行政運営方針
第2部会	●都市像Ⅰ「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」
第3部会	●都市像Ⅱ「田園と都市が織りなす、環境健康都市」 ●区ビジョン基本方針
第4部会	●都市像Ⅲ「日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市」

(3) 答申書(前文)

新潟市が本州日本海側初となる政令指定都市移行を平成19年に成し遂げてから7年半が経過しました。その間、平成20年のリーマンショックや平成23年の3.11大震災の発生など、当初想定しなかった環境変化に対応しながら、拠点性を活かした取組みや、市民が市政に参画するための仕組みの構築など、市民と共に進めたまちづくりにより、政令指定都市としての基盤は整ったものと認識しています。

今後、我が国は少子・高齢化の急激な進行による本格的な人口減少時代を迎え、自治体を取り巻く環境も大きく変わることが予想され、私たちの新潟市も例外ではありません。

次期総合計画「にいがた未来ビジョン」は、新潟市におけるこのような激動の時代環境の中において、私たち一人ひとりの市民が明るい未来に向かうための、いわば羅針盤ともいえる計画です。

本審議会は、平成26年6月24日、総合計画素案の諮問を受け、4つの部会を設置し、各部会、部会長会議及び全体会において、これまで延べ20回にわたり、専門的な見地や地域、市民としての立場から審議を重ねてきました。

審議にあたっては、新潟市におけるこれまでのまちづくりの現状と課題に加え、自然や文化、地理的条件、産業構造などの新潟市の特性や、メガトレンドである人口減少、少子・高齢化の進行など国全体を取り巻く状況を踏まえることを前提としました。

その上で、安心・安全な暮らしの実現、国や県における新潟市の果たすべき役割などについて、目指すべき方向を的確に捉えたものとなっているかという視点に立ち、慎重かつ活発な議論を行ってきました。

さらに、市民と共有できるわかりやすい表現・構成となっているか、市民の立場に立った計画となっているかという観点からの検討を加えたところです。

審議の結果、「にいがた未来ビジョン」素案は、新潟市の次期総合計画としてふさわしい内容であると考えます。

なお、計画の実施にあたっては、基本構想で掲げた「地域・田園・自然の力を活かし、健康で安心に暮らせるまちづくり」「日本海開港都市の拠点性を活かし、創造的に発展を続けるまちづくり」という2つのまちづくりの理念のもと、「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」「田園と都市が織りなす、環境健康都市」「日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市」という3つの都市像の実現に向け、市民と行政が力を合わせ、市民生活の向上に努めるよう要請します。

また、厳しい人口減少、少子・超高齢社会においても、新潟市の活力を向上させるための取組みを全力で進めると同時に、次世代に過度な負担を強いることなく引き継ぐよう、持続可能なまちづくりを進め、安心で安全な市民の暮らしを実現させることを要請します。

4

市民参加

本市が目指すまちづくりを市民の皆さまと共有していくため、策定段階において、ワークショップやアンケート、意見交換などを実施し、市民の皆様の考えをお聞きしました。

(1)ワークショップ

内 容	開催日	参加者	テーマ・主な意見	参加人数
8大学連携まちづくりワークショップ	平成26年 1月11日	新潟大学, 新潟薬科大学, 新潟国際情報大学, 新潟青陵大学, 新潟医療福祉大学, 日本歯科大学新潟生命歯学部, 敬和学園大学, 新潟県立大学の大学生	テーマ 『新潟市の将来像(ビジョン)について』 主な意見 ・ 楽しく働ける会社がたくさんあるまちになってほしい。 ・ 公共交通機関が充実しているまちになってほしい。	72
区自治協議会まちづくりワークショップ	1月16日～ 2月27日	区自治協議会委員	テーマ 『総合計画や区ビジョン基本方針、区ビジョンまちづくり計画に基づき実施してきた「これまでの取り組み」を検証』 主な意見 ・ 一人暮らしの方に対するケア(病気・除雪・ゴミ出し)などが必要。	181
にいがた未来cafe	3月29日	区自治協議会, 地域コミュニティ協議会, 地域コーディネーター, 大学生, 専門学校生, まちづくりの各種活動主体, 女性団体, 外国人ほか	テーマ 『新潟市の未来について』 主な意見 ・ 若者の働く場の創出, 誘致が必要。 ・ 英語で暮らせる環境の整備が必要。	128
地域コミュニティを考えるワークショップ	5月18日	地域コミュニティ協議会, 地域コーディネーター	テーマ 『暮らしやすい地域コミュニティを実現させるための方策について』 主な意見 ・ 高齢者と子どもが近づける場があるとよい。	12
女性が考えるにいがたの未来ワークショップ	7月21日	専門学校生, 大学生, 子育て支援団体	テーマ 『若い女性の流出を減少させるために取り組むこと』 主な意見 ・ 子育て世代に暮らしやすい環境をつくること。	11

8大学連携まちづくりワークショップの様子



区自治協議会まちづくりワークショップの様子



にいがた未来cafeの様子



(2) アンケート・聞き取り調査

内容	開催日	対象者	調査内容・主な意見	回答人数
新潟大学法学部 特殊講義 まちづくりアンケート	平成26年 1月28日	新潟大学法学部 特殊講義 受講者	テーマ 『市政情報をどこから得ているか』 『2020年、新潟市がどんなまちになっていたら良いと思うか』など 主な意見 ・ テレビ、ラジオ、新聞から情報を得ている。 ・ 自然豊かなまち。	165
新潟市サポーターズ 倶楽部 まちづくりアンケート	1月22日～ 2月23日	「新潟市サポーターズ倶楽部」会員をはじめとした、県外在住の新潟市に愛着のある皆さま	テーマ 『あなたが思う「新潟市の魅力」』『あなたが思う「新潟市の改善すべきこと」』など 主な意見 ・ 食べ物がおいしい。 ・ もっと首都圏に魅力を発信すべき。	65
女性を対象とした 聞き取り調査	6月25日～ 7月11日	各区役所の窓口や子育て支援施設を訪れる女性、大学生、専門学校生	テーマ 『新潟市が女性にとってより魅力的で「住みたい」、「住み続けたい」と思ってもらえるようなまちになるためのアイデア』など 主な意見 ・ 子育て世代が働きやすい企業を増やすこと。	407

サポーターズ倶楽部まちづくりアンケートの様子



(3) 意見交換

内容	開催日	説明	参加人数
区自治協議会との意見交換会	平成26年 4月30日～ 5月30日	区自治協議会の冒頭に市長より次期総合計画策定について説明をした後、市長と自治協議会委員との意見交換	209
地域コミュニティ協議会との懇談会	8月2日	地域コミュニティ協議会と「にいがた未来ビジョン」をテーマに開催	71

(4) シンポジウム

『デフレの正体』や『里山資本主義』の著者である藻谷浩介氏を講師に迎え、総合計画のポイントである「人口減少社会と田園資源を活用したまちづくり」をテーマにシンポジウムを開催しました。

開催日 平成26年8月23日
会場 朱鷺メッセ2階メインホール
参加人数 約200人



(5) パブリックコメント

総合計画の素案について、市民の皆さまからご意見を募集しました。

募集期間 平成26年8月4日～9月12日
提出数 提出者数 23者 意見数 63件
提出方法 郵送 3者 FAX 7者 電子メール 13者

5 各種データ

新潟市の現状を概観するうえで、本編のほかに参考となる各種データを紹介します。

項目		新潟市全体	北 区	東 区	中央区	
人 口	昼夜間人口比率(昼間人口/夜間人口)	101.8	94.1	93.1	132.1	
	外国人人口(人)	4,549	572	771	1,369	
子 ども	合計特殊出生率 ※1	1.32	1.27	1.38	1.27	
	幼稚園・保育園数(施設)	275	28	45	60	
	小学校数(校) (分校1含む)	115	13	12	22	
	中学校数(校) (分校1含む)	61	8	8	10	
	放課後児童クラブ数(クラブ)	104	8	15	20	
高 齢 者	要支援・要介護認定者数(人) ※2	38,358	3,563	6,137	8,327	
	特別養護 老人ホーム	施設数(施設)	75	9	11	12
		定員合計(人)	4,867	500	694	704
	在宅療養支援診療所数(施設)		42	1	3	18
	健康寿命 男性 ※3	健康な期間(年)	17.19	17.04	16.97	17.01
		健康でない期間(年)	1.77	1.82	1.97	1.68
	健康寿命 女性 ※3	健康な期間(年)	20.55	19.96	20.23	20.23
		健康でない期間(年)	3.90	4.18	3.94	3.82
産 業	産業中分類別製造品出荷額等の 上位の割合(%)	食料品製造業	化学工業	パルプ・紙・紙 加工品製造業	輸送用機械器具 製造業	
		22.3	61.5	54.2	33.2	
		化学工業	食料品製造業	化学工業	食料品製造業	
20.1	13.4	10.8	24.6			
パルプ・紙・紙加工 品製造業	金属製品製造業	食料品製造業	印刷・同関連業			
16.3	4.4	9.7	9.9			
農 業	認定農業者数(人) ※4	3,122	353	71	38	
地 域 ・ 人 づ くり	コミュニティ協議会数		97	8	12	22
	避難所	避難所数(箇所)	364	43	29	49
		一時避難場所数(箇所)	209	32	24	19
		広域避難場所数(箇所)	11	2	1	3
	空き家	戸数(戸)	41,950	2,250	5,770	17,460
率(%)		12.3	8.3	9.7	18.3	
NPO法人数(法人)		235	14	27	104	
交 通	代表交通手段別 構成比※5	鉄道(%)	2.6	2.9	1.3	3.1
		バス(%)	2.8	0.5	2.3	5.5
		自動車(%)	69.3	78.6	71.1	61.1
		二輪車(%)	9.8	5.3	10.5	12.5
		徒歩(%)	15.4	12.8	14.8	17.8

※1 15～49歳の女性が1年間に出生した子どもの数を基にして、一人の女性が生涯に生むと予測される子どもの数の平均数を算出したもの。データは平成25年時点。

※2 新潟市全体には本市被保険者で市外に住所のある住所地特例者を含んでいる。

※3 65歳時点の平均余命年数のうち、日常生活が自立している期間(年数)を「健康な期間」、自立していない期間(年数)を「健康でない期間」とする。

江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	資料
99.1	87.1	94.9	92.6	92.1	国勢調査 (H22)
246	258	108	1,010	215	住民基本台帳人口 (H25.12)
1.38	1.31	1.34	1.35	1.20	新潟市の保健と福祉(保健編)(H26)
28	26	17	49	22	新潟市子育て応援パンフレット「スキップ」(H26)
10	13	11	19	15	学校基本調査 (H26)
7	6	6	10	6	
9	11	9	19	13	新潟市子育て応援パンフレット「スキップ」(H26)
3,549	4,005	2,306	7,292	3,179	新潟市介護保険課調べ (H26.3)
9	9	4	13	8	新潟市介護保険課調べ (H27.3)
688	546	330	907	498	
1	4	1	7	7	新潟市医療計画 (H26)
17.05	17.44	17.08	17.49	17.19	新潟市保健所調べ (H22)
2.03	1.86	1.69	1.80	1.76	
20.47	20.68	21.23	20.91	20.81	
4.25	3.61	3.34	4.15	4.08	
食料品製造業 60.7	輸送用機械器具製造業 40.4	食料品製造業 31.1	食料品製造業 35.1	食料品製造業 33.9	
印刷・同関連業 12.6	窯業・土石製品製造業 13.2	金属製品製造業 18.6	印刷・同関連業 13.1	金属製品製造業 20.7	
プラスチック製品製造業 7.2	電子部品・デバイス・電子回路製造業 6.3	鉄鋼業 12.1	飲料・たばこ・飼料製造業 10.5	生産用機械器具製造業 9.7	
303	402	549	530	876	新潟市の農林水産業 (H26)
8	11	12	15	9	新潟市市民協働課調べ (H26.4.1)
34	57	48	37	67	新潟市防災課調べ (H27.4)
36	19	38	18	23	
0	0	1	2	2	
1,920	2,490	1,260	8,840	1,950	住宅・土地統計調査 (H20)
8.2	9.1	8.4	12.2	9.9	新潟市市民協働課調べ (H25)
15	16	2	42	15	
2.5	4.7	0.2	2.6	2.5	
0.7	0.2	1.2	2.9	1.0	
76.4	68.7	82.7	69.8	75.0	新潟市内都市交通特性調査 (H23)
8.5	10.3	6.6	8.1	8.4	
12.0	16.0	9.3	16.7	13.2	

※4 農業の経営感覚に優れ、他産業の労働者並みの年間所得などを実現できる農業者として、自ら作成した農業経営の計画により市町村から認定された農業者。データは平成25年時点。

※5 人がある1つの目的をもって移動したときの主な交通手段の割合。